

支援先、ご協力いただいた団体のご紹介

2026/8/31現在

※1	被災地巡回展示：	恐竜の銅像を連れて移動動物園を開催！鍛鉄工芸家・西田光男氏が製作した首長竜3体（TARO、ICHORO、KAZUKO）を被災地域の幼稚園や仮設住宅など子供たちが大勢いる場所に巡回展示するプロジェクト。1か所につき2週間程度、気仙沼や石巻など20か所に展示されました。触ってもよい登ってもいい恐竜たちの来訪に子供たちは大喜び。「子供が笑顔になると大人も元気になる」西田氏の考えは大正解でした。西田氏と大会本部KFCの活動に賛同し、莫大な恐竜たちの輸送費用を微力ながら支援させていただきました。
※2	こころさをり再建プロジェクト：	宮城県石巻市のNPO法人 輝くなかまチャレンジは、障がいを持つ社会的に立場の弱い人たちの自立と社会参加を支援するため、障がい者地域活動支援センターを通じ「さをり織り」を製作・販売。しかし3.11で夢を織るための作業所が失われてしまいました。支援の手はこのような部分に届き難いのではないかと赤十字等を通さずスポーツエイドジャパンが直接支援を続けていました。Polar Bear Trainer's Team白くま隊のご協力のもと大会会場でのマッサージ施術の一部を、こころさをり再建プロジェクトに寄付させていただきました。
※3	TOMOSURUN実行委員会：	東日本大震災で大きな被害を受けた地域に「希望の灯り」を「ともす」をコンセプトに、陸前高田～大船渡～釜石までを「共走」するランニングイベント『TOMOSU RUN』を開催。被災地域を訪れ思いを馳せる機会をつくり、復興していく様子を参加者や全国に発信することを目指す団体です。ランニングイベントは惜しまれながら終了しましたが、ランニングマイケルに多大な影響を与えてくれました。
※4	石巻まなみ組：	3.11で石巻を拠点に、床下の泥出しなどを中心に長期に渡り活動した有志ボランティアチーム。リーダー中村真菜美氏を中心に、石巻、常総、熊本、岩泉など、長期・かつ広範囲に渡りボランティア活動を展開しています。一緒に活動して清掃用具や消毒薬、防塵マスク、養生資材等が大量に必要なことを痛感。資機材の購入資金としてお預かりした支援金を役立ててもらいました。
※5	風組関東：	2004年新潟中越地震後から活動する、規模自然災害の被災地で緊急救援期の初動活動、復興支援活動を展開する民間の有志ボランティアチーム。装備・対応力・機動力ともズバ抜けた精鋭部隊で、技術系災害ボランティアネットワークDRT JAPANの一員として常に最前線で活動しています。高所作業や重機使用、大作業、電気工事等もこなすプロフェッショナル揃いで、一般ボランティアでは立ち入れない場所での活動を展開。大量のブルーシートや土のう袋・ロープなどの資材購入、特殊工具や重機を扱うために必要な車両移動の燃料費等として支援金を役立ててもらっています。
※6	アースディwithマイケル、TtMJ関東・仙台：	マイケル・ジャクソンのトリビュートダンスチーム。走るマイケルジャクソンと意気投合して交流を重ね、ダンスをレクチャーしてもらったり(笑)、宮城県多賀城市で開催された「けっぱれ東北チャリティリレーマラソン」に一緒に参加し、つないでもつないでもずっとマイケル襷リレーを実現。マイケルジャクソンのチャリティ精神をも受け継ぎ、各種募金や災害ボランティア活動にもご協力いただいています。
※7	みらい見守り隊：	熊本県をベースに自然災害の復興支援活動を展開している慈善団体。代表嶋村氏に出会ったのは2019年、台風19号で被災した千葉県鋸南町の災害ボランティア現場。一人だけ装備も動きヤル気も(笑)明らかにレベルが違いました。2020年の球磨川氾濫でご自身の地元も被災。復旧活動の傍ら子ども食堂を運営していると知り、当時コロナ禍の中で奇跡的に開催された球磨川リバイバルトレイルにランニングマイケルも出場し訪熊。熊本で必要としている人に渡してほしいと先輩から託された防塵マスクとゴム手袋を、人吉市の嶋村氏を訪ねてお渡ししたこともありました。日本各地を飛び回って続けている献身的な災害復旧活動に必要なブルーシートやロープ等の資材購入、車両移動の燃料費等として支援金を役立ててもらっています。